

会長通信 3 年 4 月号

令和 3 年 4 月 22 日
穂積啓三

前期は 2 年 4 月、5 月のコロナウイルスによる今まで経験したことがない売上減少に見舞われました。

その中で、加湿器、空気清浄機、マットの注文増加、エコライフ事業の立ち上げ、ライズの営業権取得、純増 1136 万円などなど多くの未来への投資を行いました。運転資金が湯水の様に出て行き、現状を守るのと、未来への投資の狭間で揺れ動きました。

しかし、その資金繰りが苦しい中、前期の未来への投資が今期収穫期になると思われます。

社内顧客交換を行い、生産性を高める、レンタルは純増を目指す。

家庭用は変動費になど更に手を緩めずに改革を進めて行きたいと思えます。

エコライフ事業部の売上比率を増加させ、株式会社ほづみの高収益、高賃金の会社を目指します。

1 年後高賃金の具体策が出せる様に、是非とも現在進めている各店の中での顧客交換、各店間同士の顧客交換、シャトル東京の顧客交換を 1 年で実現して頂きたいと願っています。

先日古田土会計の担当者と話しました。

いつも色々の提言を貰っていますが、今回「店長とは何か」の提言を受けました。店長の理想像(イメージ)を文章化し、今期には行動ベースで議論が出来る様にすることが必要との指導を受けました。

そういえば、社長がいつも円錐形の理想像の話をしています。

では店長の理想像とは一体何でしょうか?

店長、準店長、副店長、マネージャー、チーフの責任ある方は統一したイメージ(理想像)を持つことが必要です。

みなさまにお聞きします。

責任者の仕事は多岐に渡ります。その中で何を最重要としていますか?

「店長とは何か」を文章化を少しづつ書きだしていますが、よくよく考えると今までも文章だけを作ってそのままになっているのが多くありますが、今回も同じ様にしたくありません。

先日店長の仕事で最も大切にしなければならないものは何か?の質問をさせて頂きました。

店長会で議論し皆さままで完成させたいと思えます。

店長が最も大切にしなければならないものは何だとおもいますか？

やはり熱い思い、仕事の意味が最も大切なのではないかと思います。

何故なら、仕事の意味が分からなければ、仕事は地獄になります。お金を稼ぐ為の仕事に成り下がってしまいます。

仕事の意味とはいったい何でしょうか

やはり、仕事の根本は何らかの形で世の中のお役にたった実感が、魂を奮い立てます。

犠牲では世の中のお役に立てません。

自分も喜び、世の中も喜んで頂く、それが会社の原点ではないかと思います。

更によくよく考えれば、店長の理想像だけでなく、レンタルの理想像、ケアの理想像、

ターミニックスの理想像、ヘルスレントの理想像、

エコライフの理想像など単純明快にイメージされているものは一つもありません。

社長が機会ある毎に訴えていることが全く進んでいないのです。

理想像(イメージ)は誰でもが何時でもイメージ出来る単純なものでなければなりません。

今回の店長イメージをきっかけに、是非とも各々の職種で理想像の統一をしたいと心から願っています。